



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター

〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8

E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp

URL <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/>



不登校の子どもの 「不安」を受け止めるために



令和2年度 研究報告会

令和2年度認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター「研究報告会」が、2月20日(土)14時45分から川崎市総合教育センターで開催されました。研究のメインテーマは、昨年度と同じ「子どもに寄り添った多様な支援の実現に向けて」です。今年度のサブテーマは、「不登校の子どもの不安を受け止めるために」として、「不安」の中身について深めることにしました。緊急事態宣言が発令された中でしたが、当日の参加者は所員を含めて127名でした。

「『寄り添う』という言葉はよく使われるが、どう寄り添うのか？どうなれば寄り添ったと言えるのか？というところまで踏み込んでいたのが、大変有意義に思えました。」「とても分かりやすい発表でした。パワーポイントを効果的に使いながら、冊子のページと対応していたので、すぐに知りたい内容に関連付けることができました。」「実際に不登校だった方、不登校のお子さんの方がいた方の話を聞いて、子ども達への接し方を改めて考えさせられました。」等の感想を多数頂きました。

前田博明理事長挨拶



指導講評

岡田守弘横浜国立大学名誉教授



話に興味をもち聞き入る参加者の皆様



研究内容：齋藤研究部長



研究内容については齋藤正研究部長から、アンケート調査は井上なおみ研究部員、実践事例報告は保崎万里研究部員が行いました。研究を振り返って、子どもの不安に寄り添う支援の充実に繋がるポイントとして、「変動する不安に寄り添いながら関わりを継続する」「子どもの変化の瞬間に気づく」「視点を変えると支援の評価も変わる」ということが分かりました。

アンケート調査：井上研究部員



実践事例報告：保崎研究部員



3月の行事予定

日	曜	主な行事
1	月	事務局打合せ⑫
2	火	寺子屋たかつ・さぎぬま 学習支援川崎教室
3	水	研究部会⑫ 寺子屋富士見つ 子 日本語支援東小倉 学習支援幸・日吉教室
4	木	学習支援川崎教室
5	金	事務局会 13時 役員会 15時 学習支援幸・日吉教室
6	土	寺子屋たかつ体験活動
7	日	
8	月	
9	火	学習支援川崎教室 寺子屋た かつ 寺子屋さぎぬま(最終)
10	水	日本語支援東小倉 学習支援幸・日吉教室
11	木	学習支援川崎教室 運営会議(南野川)
12	金	学習支援幸・日吉教室(最終)
13	土	理事会⑬14時 ハッピータウン分教室
14	日	
15	月	学習相談部会⑪
16	火	学習支援川崎教室(最終) 寺子屋たかつ(最終)
17	水	日本語支援東小倉(最終)
18	木	学校サポーター説明登録会① 10時～15時 臨任研指導員連絡協議会⑬18時
19	金	学校サポーター説明登録会② 10時～15時
20	土	春分の日
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	所員会 13時30分
28	日	サイエンスキッズ打合せ 14時
29	月	
30	火	
31	水	

第3回

会計担当者会を開催

大山街道ふるさと館にて

2月8日(月)10時から「大山街道ふるさと館」第2会議室において、「第3回会計担当者会」が開催されました。各事業の会計担当者等が26名出席しました。お忙しい中、小泉めぐみ顧問税理士さんにもご出席いただきました。

上平事務局次長の司会で、令和2年度の会計処理について確認事項と検討事項に分けて協議しました。まず、各種保険、消費税分・事務経費等や謝金の源泉税の扱いなどについて確認をしました。続いて、「決算の報告に向けて」「令和3年度予算書の作成について」「その他：認定関係」等について協議した後、各事業の「会計報告領収書綴」ファイルの点検作業を行いました。



編集後記

今年は2月3日が立春でしたが、この2月は「早春賦」の歌詞のとおり、春は名だけの風の寒い日が続きました。当サポートセンターは4月から、いよいよ18年目をむかえます。

